

# もし、みんなの住む八尾市で大きな災害がおこったら、どうなるんだろう。 八尾市災害ボランティアセンターを紹介します

東日本大震災がおこって、今年の3月11日で3年がたちました。「災害ボランティア」って、聞いたことがありますか。

地震や台風などの自然災害が起きた地域で、被災した人を支援する活動のことを「災害ボランティア活動」といいます。

東日本大震災の被災地では、「災害ボランティア」と呼ばれるボランティアさんが、避難所でのお手伝いや、被災した家の片付けなどを行いました。



第8号 (平成26年3月発行)

## ① 災害ボランティアセンターってなに？



**答え** 災害がおこったときに、被災地での災害ボランティア活動をスムーズに行うことができるように作られる、災害ボランティアさんの活動の中心になるところだよ。



## ② 災害ボランティアセンターはどんなことをするの？

**答え** 被災地でどんなお手伝いが必要か情報を集めます。そして、お手伝いが必要な人と、お手伝いしてくれる人(災害ボランティアさんのこと)をつなぐんだ。

## ③ もし、八尾市で大きな災害がおこったら、八尾市災害ボランティアセンターはどこにできるの？

**答え** 八尾市立社会福祉会館、又は南木の本防災体育館などにできる予定(市内の被害状態によって場所は変わります)です。八尾市や、八尾市ボランティア連絡会などのボランティア活動をしている人たちと一緒に協力して、災害ボランティアセンターをつくらせていくことになっているよ。



平成26年2月に、八尾市ボランティア連絡会等のご協力のもと、「災害ボランティアセンター立ち上げ訓練」を行いました。田中誠太八尾市長や八尾市の職員さんも応援にかけつけて下さいました。今後も、災害に備えて訓練等を実施していきます！



さいがい そな 災害に備えます!ヘルメットを配ったよ。



あそ 遊びながら、健康な身体をつくろう。



こうれいしゃ しせつ にちじょうせいかつ  
高齢者施設の日常生活や  
生きがいづくりも支えます。

あか は ね きょうどう ぼ きん  
**赤い羽根共同募金**

うん ぽん  
**運動はみんなが**

ボランテニアです

あか は ね きょうどう ぼ きん  
赤い羽根共同募金は、地域の福祉がもつ  
ともっと広がるように願いをこめて、みんな  
が参加する募金活動です。

ぼ きん ぼん 募金を集める人も、寄付する人も、みん  
なボランティアです。わたしたちの八尾市の  
募金活動の取り組みを紹介します。

こし 今年も赤い羽根共同募金で  
いろいろな福祉の輪が広がりました。

あか は ね きょうどう ぼ きん きょうりょく ねが  
**「赤い羽根共同募金にご協力をお願いします!」**  
がっ こう と く しょう かい  
**学校での取り組みを紹介します。**



や おしょうがっ こう  
八尾小学校



かつらしょうがっ こう  
桂小学校



ひがしちゅうがっ こう  
東中学校



きゅうほう じちゅうがっ こう  
久宝寺中学校

## おうちのかたへ

「災害ボランティアセンター」は、大きな災害が発生した際に設置される、被災地での災害ボランティア活動を円滑に進めるための拠点です。

137万7,300人ものボランティアが集まった阪神・淡路大震災から、特に注目されるようになった「災害ボランティア」。東日本大震災の際にも、多くの災害ボランティアが活躍しています。

ただ、実際に被災地で瓦礫の撤去等のボランティア活動をするだけでなく、「ボランティア」ではありません。現地に行けなくても、できることはたくさんあります。まずは、募金です。大きな災害が起きますと、共同募金会や日本赤十字社で、また海外での災害の場合は、現地で活動するNGO等でも募金が開始されます。

また、けが人への対応などで、被災地では血液が不足することもあります。この時に献血に協力することも人の命を救うボランティア活動です。「血液が足りないので献血に行きましょう」と、「多くの人に知らせる」ことも大切な活動です。

ぜひ、この機会に、「災害ボランティア」について、また災害が発生したときの行動について、ご家庭で話し合ってみて下さい。

赤い羽根共同募金は、募金運動を通じて支援の輪を広げ、たすけあいの「新しい寄付の文化」を根づかせたいという願いを持って取り組まれています。その願いをより具体的に、「寄付する人も、募る人もボランティア」という言葉で表現しています。

赤い羽根共同募金運動は、こどもたちが比較的容易に参加し、始めることができるボランティア活動です。こどもたちが、自分たちが住むまちの共同募金の使いみちを調べることなどによって、地域内のさまざまな人々の暮らしに対する理解を深めることができます。

赤い羽根共同募金運動を通じて、こどもたちが地域のさまざまな人々の暮らしにふれ、やさしい気持ちや思いやりの心を育てていくことを期待しております。